

令和3年度

一般財団法人佐渡文化財団

事業報告書

令和4年3月31日

～ 目 次 ～

I	事業総括	3
II	総務事項	
1.	組織	4
2.	会議の開催	5
III	事業概要	
1	伝統芸能の継承者育成及びPR	7
2	伝統芸能の常設披露による文化団体活性化	8
3	キャリア教育支援及び文化活動担い手育成	9
4	その他	10
IV	収支実績	11
■	収支詳細資料	
	貸借対照表	12
	令和3年度一般財団法人佐渡文化財団収支決算書	13
	補助金実績見込額算出表	14
	経費明細（支出内訳）書 事業費	15
	経費明細（支出内訳）書 運営費	16
	月別執行状況表	17
■	佐渡文化財団事業評価一覧	18
■	事業詳細資料	
II	会議録	II-1-46
1	伝統芸能の継承者育成及びPR 関連	III-1-1～8
2	伝統芸能の常設披露による文化団体活性化 関連	III-2-9～12
3	キャリア教育支援及び文化活動担い手育成 関連	III-3-13～19
4	その他 関連	III-4-21～45
5	総務 関連	II-5-48～49
■	令和3年度佐渡文化財団、事業日程	

## I 事業総括

令和2年度に引き続き、重点事業を絞り込み身の丈にあった事業計画・予算に従って事業を展開する中で、4月1日で佐渡市役所から事務局長として職員の派遣を受け、設立当初から携わっていただいていた評議員の渡邊尚人氏と末武榮子氏が辞任し、令和3年5月6日付けで新発田靖氏が新たに評議員に選任されました。また、令和3年6月2日付けで笹本理事長をはじめ、4名の理事が新たに選任され再出発を図りました。一方で、常勤役員を選任に至らず組織の基盤を固めきることができませんでした。早急な対応が必要であることについて役員、職員ともに認識し、候補者にあたっているところです。

事業計画に基づきながら進めた事業としては、国指定重要無形民俗文化財である佐渡の人形芝居団体の調査を実施し、市内で活動を続ける人形座の現状把握に努めました。その中で、7月に開催した「佐渡人形芝居上演会」は、佐渡島開発総合センターのこけら落としとして大勢の来場者があり「上演の場の創出」と「上演（裏方含む）記録」等の成果を挙げることができました。

金井能楽堂等を活用した伝統芸能の常設披露化については、コロナ禍においてイベントの実施が困難でなかなか計画した事業の実施ができなかった中、「佐渡文化・芸能シリーズ」等の催しで得た課題を今後の事業展開に向けて分析・検討していきたいと思えます。

キャリア教育等の支援・担い手育成については、例年通りの活動に取り組む中、わら細工のワークショップや就労支援事業等を主催しより多くの市民に学び・技術習得の場を提供しました。また、情報発信の強化として、Twitterの新設、ニュースレター「さど文化板図」の発行、オンラインを活用したイベントなどに取組み財団自体の認知度向上に努めました。

自主財源の確保につきましては、12月から賛助会員制度を導入し年度末までに個人、法人合わせて9件の申込があり、引き続き会員の拡大に向けて取り組んでいきます。また、ポータルサイト「さどおしな」やふるさと納税などを活用し、さらなる自主財源の獲得に向けて研究を進めていきます。

リスタート元年となった令和3年度ですが、地域で活動を続けている保存会、文化団体の方々と一緒に事業を展開し、コロナ過で実施できなかった事業もありましたが、今後の財団運営の一步となる1年となりました。経営面では、適正かつ正確な会計処理に取組み、物販事業の伸びがありませんでしたが、自主事業収入、賛助会員の寄付収入等、今後の収益につながる点もあり前年度並みの金額を繰越すことができました。

## II 総務事項

人事面について、4月1日で佐渡市役所から事務局長として職員の派遣を受け、設立当初から携わっていただいていた評議員の渡邊尚人氏と末武榮子氏が辞任し、令和3年5月6日付けで新発田靖氏が新たに評議員に選任された。また、令和3年6月2日付けで笹本芳廣氏、深野まゆ子氏、藪田亨氏、後藤唯氏、栗山理恵氏の5名が理事として選任され、令和3年6月8日開催の理事会にて、笹本氏が理事長に選定され組織として再出発を図りました。一方で、常勤役員については、年度中、候補者との交渉を続けてきましたが選任に至らず組織の基盤を固めきることができませんでした。

職員の資質向上のため、佐渡市とJALの主催で開かれた「おもてなしリーダー研修」へ2名の職員が参加し、接客対応等について学びました。

会議は、理事会は8回開催し、評議員会は2回開催しました。

### 1. 組織（令和4年3月31日現在）

#### (1) 評議員

定数：3人以上10人以内、任期：～令和4年定時評議員会まで

役職	氏名	就任	備考
評議員	伊藤 窠一	平成30年7月2日	無名異焼 人間国宝
評議員	本間 久雄	平成30年7月2日	佐渡民謡協会会長
評議員	徳永 健一	平成30年7月2日	新潟市芸術文化振興財団理事長
評議員	齋藤 美千枝	平成30年7月2日	佐度能楽連盟会員
評議員	佐々木 恵里紗	平成30年7月2日	椿屋陶芸館 勤務
評議員	新発田 靖	令和3年5月6日	佐渡市教育長

#### (2) 理事・監事

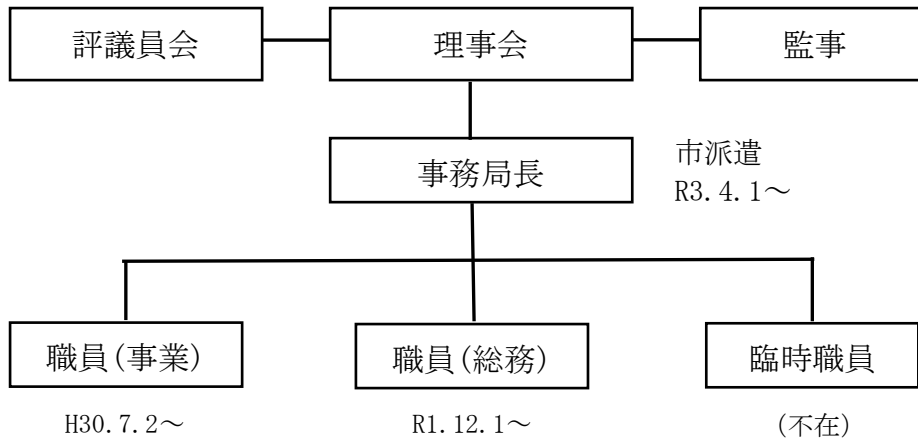
理事 定数：3名以上7人以内、任期：～令和5年定時評議員会まで

監事 定数：2名以内、任期：～令和4年定時評議員会まで

役職	氏名	就任	備考
理事	笹本 芳廣	令和3年6月2日	理事長
理事	深野 まゆ子	令和3年6月2日	
理事	藪田 亨	令和3年6月2日	
理事	後藤 唯	令和3年6月2日	
理事	栗山 理恵	令和3年6月2日	
監事	祝 良久	平成30年7月2日	

監事	河原 森久	平成 30 年 7 月 2 日	
----	-------	-----------------	--

(3) 事務局



2. 会議の開催

(1) 理事会 (全 8 回開催)

臨時理事会 (みなし理事会)

日 時 令和 3 年 4 月 1 日 (木)  
議 案 ①事務局長の任免

第 1 回定時理事会

日 時 令和 3 年 5 月 1 8 日 (火)  
場 所 畑野行政サービスセンター 2 階 小会議室  
報 告 ①評議員の辞任、選任について  
②臨時評議員会での決議事項について  
議 案 ①令和 2 年度の事業報告について  
②令和 2 年度の収支決算及び監査報告について  
③第 1 回定時評議員会の日時について

第 1 回臨時理事会

日 時 令和 3 年 6 月 8 日 (火)  
場 所 畑野行政サービスセンター 3 階 大会議室  
議 案 ①代表理事の選定、専務理事及び常務理事の選定について  
②理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときの理事会の招集権者又は議長となるべき理事の順序の決定について  
③令和 3 年度予算の補正について

## 第2回定時理事会

- 日 時 令和3年10月1日（金）
- 場 所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
- 報 告 ①職務執行状況の報告について  
②令和3年度の事業進捗状況について
- 議 案 ①一般財団法人佐渡文化財団理事会運営規則の一部を改正する規程について  
②一般財団法人佐渡文化財団評議員会運営規則の一部を改正する規程について  
③一般財団法人佐渡文化財団事務局組織規程の一部を改正する規程について  
④一般財団法人佐渡文化財団情報公開規程の一部を改正する規程について  
⑤一般財団法人佐渡文化財団個人情報保護規程の一部を改正する規程について  
⑥販売商品の価格について

## 第2回臨時理事会

- 日 時 令和3年11月22日（月）
- 場 所 畑野行政サービスセンター 3階 中会議室
- 報 告 ①事業進捗状況について
- 議 案 ①専務理事について  
②新年度予算案について  
③会員制度について

## 第3回臨時理事会（みなし理事会）

- 日 時 令和3年12月20日（月）
- 議 案 ①会員制度について  
②ふるさと納税の返礼品について

## 第4回臨時理事会（みなし理事会）

- 日 時 令和4年2月2日（水）
- 議 案 ①短期借入金の借入

## 第3回定時理事会

- 日 時 令和4年3月28日（月）
- 場 所 畑野行政サービスセンター 3階 中会議室
- 報 告 ①第3回、第4回臨時理事会の提案に係る結果について

- 議案
- ②職務執行状況の報告について
  - ①令和4年度事業計画案及び収支予算案について
  - ②一般財団法人佐渡文化財団理事の職務権限規程の一部を改正する規程について
  - ③常勤役員の選任について

(2) 評議員会 (全2回開催)

第1回臨時評議員会

- 日時 令和3年5月6日(木)
- 場所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
- 報告 ①評議員の辞任について  
②文化財団のあり方に関する検討結果等について
- 議案 ①評議員の選任について  
②組織体制の見直しについて

第1回定時評議員会

- 日時 令和3年6月2日(水)
- 場所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
- 議案 ①令和2年度事業報告及び決算の承認について  
②理事の選任について

■事業評価 … No.46～49、参照

■詳細資料 … II-1-46、II-5-48～II-5-49 参照

### III 事業概要

#### 1 伝統芸能の継承者育成及びPR

##### 【事業の趣旨・実績】

令和2年度に引き続き、民謡団体の組織化を図っていくため、第5回佐渡民謡の祝祭に実施と併せて各団体に対するヒアリング調査を進めました。

国指定重要無形民俗文化財である佐渡の人形芝居の保存団体について、佐渡人形芝居保存会と連携しながら各座のヒアリング調査を進めました。また、過去に地域持ち回りで実施されていたという定期公演の再現と調査を兼ねて、7月18日に「佐渡人形芝居上演会」を開催し、100名を超える来場者がありました。

ネットワーク化及び組織化の推進として、佐渡人形芝居保存会に加盟していなかった「新青座」と「虫紋座」の2団体が保存会へ加盟するための調整を図り新年度に加盟する運びとなりました。今年度、人形座の座員数や主な上演演

目などについて聞き取った調査ですが、次年度は台本や稽古道具などの調査を継続します。

また、調査にあたり佐渡博物館の池田哲夫館長をはじめ、千葉大学大学院人文科学研究院国際未来教育基幹の田草川みずき准教授、早稲田大学文学学術院文化構想学部の和田修准教授、新潟県立歴史博物館学芸課の大楽和正主任研究員らと情報共有を図りながらご指導受け、過去に調査した民謡などの調査の公開に向けて監修をいただきます。

その他、佐渡市教育総合センターのライブラリーにて、過去の説経人形の映像を調査したり、春まつりを控えた保存会等に向けて感染症等対策の研修を開催したりしました。

#### 【令和3年度における主な業務実績】

○第5回佐渡民謡の祝祭企画 ※コロナ感染拡大のため中止

○人形芝居団体（人形座）の調査 令和3年6月～令和4年3月

○佐渡人形芝居上演会

・日時 7月18日 ・会場 佐渡島開発総合センター大ホール（こけら落とし）

・出演団体 人形座7座、真野中学校、姐樽 ・来場者 109名

○保存会のための春まつり感染症等対策研修

・日時 3月29日 ・会場：金井コミュニティセンター大会議室

・事例発表3団体 ・来場者 20名

■事業評価 … No.1～8 参照

■詳細資料 … III-1-1～III-1-18 参照

## 2 伝統芸能の常設披露による文化団体活性化

#### 【事業の趣旨・実績】

常設披露の対象施設である金井能楽堂の調査、関係者からのヒアリングを行いました。その中で佐渡市教育委員会と共催で11月21日に「佐渡文化・芸能シリーズ『文弥節、佐渡民話を聴く』」と題して試験的なイベントを実施した。イベントを通じて、会場の収容人数や駐車場、楽屋、スタッフ労力、収支等の検討材料を得ましたので、今後の上演の場の創出につなげていきたいと思いません。

また、佐渡市社会福祉協議会と連携して3月9日に「のろま人形オンライン上演会」を実施し、上演を求めている芸能団体とコロナ過で文化団体の訪問が減少している福祉施設の両方の要望を満たすことができました。

#### 【令和3年度における主な業務実績】

○佐渡文化・芸能シリーズ「文弥節、佐渡民話を聴く」

・日時 11月21日 ・会場 金井能楽堂 ・来場者 40名

・出演者 常盤座 太夫 久保宗香氏、真明座 太夫 平野宗晴氏、笠井淳子氏



相模女子大学・相模女子大学短期大学大学部「佐渡プロジェクト」、  
佐渡市立佐渡博物館 池田哲夫館長

○のろま人形オンライン上演会

- ・日時 3月9日 ・会場：畑野行政サービスセンター3F大会議室
- ・出演者 「のろま人形講座」受講経験者グループ ・演目「そば畑」
- ・視聴福祉施設

畑野デイサービスセンターやわらぎの里（相互交流）

グループホームまの（視聴のみ）

真野の里（視聴のみ）

その他、オンライン申込2名

■事業評価…No.9～12 参照

■詳細資料…Ⅲ-2-9～Ⅲ-2-12 参照

### 3 キャリア教育支援及び文化活動担い手育成

#### 【事業の趣旨・実績】

学校等への講師派遣に加え、財団職員が外部講師として総合的な学習の時間や国語の授業などで佐渡の文化や工芸について話しをする機会を増やしました。合わせてわら細工を体験する授業依頼も増え、児童たちがわら細工に触れる機会が増えました。生活スタイルの変化やコロナ過で、児童・生徒たちが佐渡の芸能や祭り等に触れる機会が減少しているため、意図的に文化・芸能に触れる場を増やしていく必要性を感じました。

また、学校等へ貸し出している三味線について修繕を行い、引き続き、貸出業務に備えました。

昨年度に引き続き、茅刈りワークショップを企画し小倉茅場で実施した他、昨年の取組に共感した椿茅場でもワークショップを実施しました。

#### 【令和3年度における主な業務実績】

○講師派遣実績 6件（小学校3件、中学校1件、高校2件、その他0件）

○講師依頼実績 8件（小学校6件、中学校0件、高校0件、その他2件）

○学校等への貸出実績 8件、貸出延べ台数119台

○ジオパークガイド対象 わら細工ワークショップ

・日時 11月5日 ・会場：畑野行政サービスセンター3F中会議室

・参加者 6名

○茅刈り講習ワークショップ

・椿茅場 11月28日 ・参加者 8名 ・修了者 3名

・小倉茅場 12月5日 ・参加者 9名 ・修了者 2名

【事業評価】…No.13～20 参照

【詳細資料】…Ⅲ-3-13～Ⅲ-3-19 参照

## 4 その他

### 【事業の趣旨・実績】

佐渡文化財団の認知度向上のため、ホームページをはじめ、SNSの更新開始数を増やしました。その結果、ページビュー、フォロワー数、リーチ数いずれも増加しました。また、理事からの提案があったTwitterの新設によりリツイート数も伸びています。

年1回の発行を予定していた広報誌に代えて、佐渡文化財団だよりとして、ニュースレター「さど文化板図」を毎月発行し、財団主催事業や島内の祭り、継承活動などを紹介しました。

新たな試みとして賛助会員制の導入、ふるさと納税事業の活用、財団所有のレンタル商品の増加、就労支援事業を主催し、福祉機関と連携し働く場の造成と継承者へつなげるワークショップを開催しました。

その他、佐渡 GIAHS 認定 10 周年を記念したフォーラムに藪田理事が第3分科会のパネリストとして登壇したり、新潟三越伊勢丹において開かれたフェアに参画し、わら細工ワークショップや鬼面・衣装ディスプレイなどを実施したりするなど、財団の知見を必要として委嘱、参加を求められた実行委員会や懇談会などにも積極的に参加しました。

### 【令和3年度における主な業務実績】

#### ○情報発信実績

- ・HP 更新 40 件（ページビュー、前年比 12,000 件増）
- ・Facebook 投稿 194 件（フォロワー数 700 人）
- ・Instagram 投稿 135 件（リーチ数前年比 65%増）
- ・YouTube 投稿 4 件（登録者数が 2 倍）
- ・Twitter 投稿 18 件（新規開設）
- ・ニュースレター発行 10 回（今年度初）

#### ○賛助会員制の導入

- ・入会件数 9 件（個人 5、法人 4）
- ・申込口数 9 口、寄付金額 30,000 円

#### ○就労支援 わら細工ワークショップ

- ・期間 9月28日～12月7日（全8回）
- ・会場 畑野行政サービスセンター
- ・参加者 延べ人数 32 人

【事業評価】…No.21～45 参照

【詳細資料】…Ⅲ-4-21～Ⅲ-4-45 参照

## V 収支実績

### 【収支・決算】

令和3年度は総予算 19,724 千円でスタートしました。適正な財団を運営を進める中で常勤役員が選任できなかったため、補助を受けている佐渡市に臨時職員の賃金等と併せて 4,977 千円を減額とする変更承認を申請し、11月24日付けで認められました。

経常収益 14,091,752 円に対して、経常費用 13,586,511 円を引いた 505,241 円を次年度に繰り越します。

○基本財産 3,000,000 円

○令和3年度収支決算 単位：円

	R3 予算	R3 決算	差異
経常収益 (a)	14,927,702	14,091,752	△835,950
経常費用 (b)	14,927,702	13,586,511	△1,341,191
経常費用内訳 事業費	2,380,000	2,264,049	△115,951
経常費用内訳 管理費	12,547,000	11,322,462	△1,224,538
経常費用内訳 予備費	702	0	△702
収益(a)－費用(b)	0	505,241	505,241